



しっかりとした設計と施工。そして記録を残すことは将来のメンテナンスの大きな助けになります。

ポイント
住宅の寿命を延ばすことで解体による環境負荷を減らす「長期優良住宅」は、年月が経っても資産価値のある住まいです。「長期優良住宅」は、9項目（劣化対策、耐震性、維持管理・更新の容易性、可変性、バリアフリー性、省エネルギー性、居住環境、住戸面積、維持保全計画）の基準を満たさなければなりません。

る説明をしてきて、誠意のある対応だったS社さんにお任せすることにしました。



Interview **メンテナンスが楽で長持ちする家。**

後からお金がかかるのはイヤ。だから細かく試算。

「長期優良住宅」では、10年、20年後にこういうメンテナンスをしますという計画書を作らなければなりません。私は、後からたくさんお金がかかるのはイヤなんです。費用がかかるなら初めから把握しておきたいタイプ。だからメンテナンスの計画が家を建てた当初から決められる点がよく気に入りました。初めからこれくらいの資金がかかるかわかっていたら貯金もできますし、何より心構えができますからね。

ポイント
「長期優良住宅」には、建築当初から定期的なメンテナンス計画が義務付けられています。構造耐力上主要な部分や、雨水の浸入を防止する部分、給水・排水の設備について、点検の時期や内容を決めなければなりません。また、少なくとも10年ごとに点検を実施するよう定められています。



屋根裏や床下の配管も、メンテナンスを想定して設計されています。

「長期優良住宅」は我が家の要望そのもの。

子供が生まれ、この子が小学校に入る前までに家をたてようと決めたんです。それから住宅展示場へ情報収集という勉強がてら通うようになりました。最初は見るどころ見るどころ素晴らしい、いいな欲しいなあという感じ。数を見すぎて、何がいいのかわからなくなるくらい(笑)。デザインや機能は目移りしましたが、初めからぶれないことが2つありました。それは「長く持つ家」であること。そして「後々の費用がかからない」ということ。「長期優良住宅」は、私たちの考えにピッタリだと思いました。展示場巡りの段階で「長期優良住宅」や「住宅性能評価」についての情報を得たことは、家を建てるうえでとてもプラスになりました。

家を建てて30年後に建て替えといっても、その時にお金があるかどうかかわりません。夫婦共に家を建てる時に多少値段が高くても長く持つ家がいいと考えていたので、「長期優良住宅」を建てられる会社を探しました。重視したのは、後々のメンテナンスのことまで、しっかり説明してくれること。担当営業の方には積極的に質問しました。結果、納得でき

素材の選定もメンテナンスコスト重視。

秋と冬を暮らしてみてもわかったのは、家の暖かさ。窓ガラスは紫外線をカットしてくれるし、結露も少ない。お掃除も管理も楽ですね。午前10時から電気代があがるので、それまでに部屋を暖めるようにしています。一度暖めてしまえば温度がキープされるので、まったく寒くないです。外壁は陶板にしました。アクセントで使



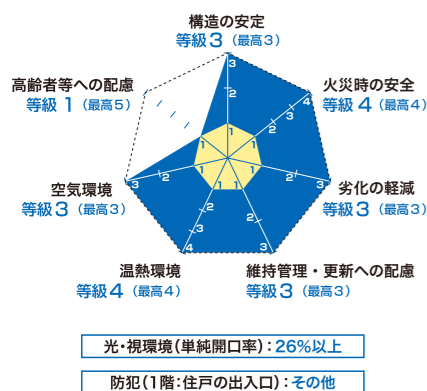
外見と性能で選んだ陶板の外壁。

うのではなく、全面に使うのは珍しいそうです。火にも強いし、見た目も気に入ったし、何よりもメンテナンスがラクなのが嬉しいです。

ポイント

住宅を長持ちさせるためには、住宅の点検・修繕などの維持保全を適切に行い、その記録を住宅履歴情報として作成・保存しておくことが大切になります。

住宅性能評価レーダーチャート



建設住宅性能評価書

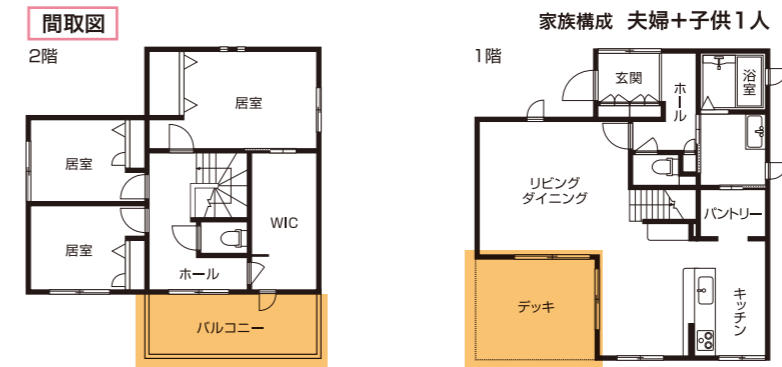


設計住宅性能評価書



長期優良住宅認定通知書

No.04 広島県 G様邸



南側に面した奥行きのある大きなバルコニー

デッキからダイレクトに駐車場へアクセス可能。なんと4台分の容量がある駐車スペースがご主人のこだわり。

